



## 令和3年度を終えて

波佐小学校教育の特色の一つに「ふるさと学習」があります。「ふるさとを語るができる子」の育成を掲げ、「調べ、教わり、体験する」ことを通してふるさとの魅力を実感しながら学習することができました。（関わってくださった地域の多くの方々に感謝しております。）令和3年度を終えるにあたり「子どもたちは自分のふるさとを語るができたのか？」と問われたとしたら、私は「できました。」と自信を持って答えます。学習公開や行事、見学などで感想を語る波佐っ子たちの姿を見られた方は納得されると思います。

また、今年度は休校期間中もオンラインで授業を行いました。情報化社会への流れに学校教育が取り残されないよう早期からタブレット等のICT機器の活用に取り組んだことが活かされました。（波佐っ子たちは、teams(オンライン会議)、ドリル、プレゼンなどタブレットを学習用具として使いこなしています。）

ふるさと学習とICT活用を例にあげましたが、今年度の波佐小学校教育は、波佐地域の建学精神にもつながる「良さを受け継ぎ、新しいものを取り入れ、世界を目指す」ものであったのではないかと思います。

コロナ禍にあっても波佐小学校の教育活動を充実したものにすることができたのも、保護者の皆様、地域の皆様のご理解ご協力があったおかげです。深く感謝いたします。

## 卒業証書授与式

波佐っ子のリーダーとして活躍してくれた3名が卒業しました。晴れやかな表情、堂々とした態度。とても立派でした。じつは卒業式前日の給食中、こんな会話がありました。

教師：「残ったデザート欲しい人」（数名が手を挙げました）

4年：「6年生は卒業だから譲ろうよ」

6年：「もうたくさんしてもらっているからいいよ」（送る会等のことです）

結局ジャンケンで6年生が勝ちましたが…在校生、卒業生が互いを大切に思う気持ちを感じられました。当日はその思い通りの卒業式となりました。

卒業生が守り受け継いでくれた波佐小に脈々と繋がる「思いやり」「一歩前へ」の精神。引き継いでいきたいと思えます。卒業生の皆さん、おめでとうございます。後輩たちのことを見守っててください。



# 教室の風景

## <ぶらさんぽ>

職員室前の廊下に斎藤康雄元校長先生が描かれた絵があります。そこには校舎と校庭で遊ぶ子ども達と万年杉が描かれています。この杉の木は今はありません。3年前に当時の2年生と、万年杉がどこに生えていたのか探してみたところ、校庭南側の石垣の上に痕跡を見つけました。残っている切株の直径から推定すると樹高20m超であったと推定されます。八幡宮のアシオスギ並の大木だったようです。当時のことを家で聞いてきてくれた子がいて「お父さんが小学生の頃、大風が吹いた次の朝、校庭に倒れていてびっくりしたそうです。」と話してくれました。これらのことを3年前の全校集会で話しました。

ふと、「今の1、2年生はこのことを知らないなあ」と思い、放課後に1年生とぶらさんぽで現場に行きました。万年杉のことで当時の様子の絵や写真があることを話をしました。「そんなにっかい木がなんで倒れたんですか!」「下に誰もいませんでしたか!」と大興奮で聞いてくれました。こういう波佐のプチ歴史も受け継いでほしいと思います。

こんな光景だった?



## <送る会>

4・5年生が中心となり、卒業する6年生に感謝を表し、一緒に楽し



しました。5年生はここからリーダーとしての役割を受け継ぎます。これまで先輩のうしろ姿をしっかりと見てきました。きっとやってくれると思います。

## <the 実験>

理科の実験で、水が沸騰するときに出る泡の正体を確かめました。出てくる気体をビニール袋にあつめると、中に水が溜まることから、泡の正体は水（水蒸気）であることがわかりました。その時の会話です。



「本当に水か飲んで確かめていいですか?」

「これは純水と言って綺麗な水だけど・・・不味いよ」「大丈夫です!」～飲んだあと～「うゑ～。何とも言えない味・・・」

※ビニール袋は清潔なものを使用しています

## <ALT先生ありがとう>

「波佐小大好き!」と公言して憚らなかったALT先生が浜田を離れます。ささやかな謝恩会に感激しておられました。



## 頑張った波佐っ子

### 児童表彰記録

## <4月行事>

- 8日(金) 着任式, 始業式 下校11:30
- 11日(月) 入学式 2~6年給食あり  
下校13:05
- 12日(火) 校外班会 全校給食
- 19日(火) 全国学力調査6年
- 21日(木) J P貯金 内科検診
- 22日(金) 読み語り開始
- 26日(火) 1年生を迎える会
- 27日(水) 学習公開・学級懇談日、PTA総会

